



なぜなにプリント

クモはどうして巣をつくるのですか。

クモの巣というと、糸であまれたあみを思いうかべますが、クモの中には、あみをはらない種類のものも、全体の半分近くもいるのです。

糸は、あみをはって、えものをひっかけるためだけではなく、巣を作ってかくれたり、命づなにしたり、たまごを糸で包んで守ったりなどと、いろいろな役目をしています。

クモのはらの中には、ぼう績線ぼうせきせんというものがあり、そこに糸になるねん液ねんえきがためられます。このねん液ねんえきが、はらの先にある糸いぼから出され、空気にくれると固まって糸になります。

糸には、ねばねばした横糸とねばりのないたて糸とがあり、横糸にはねん球ねんきゅうというねん液ねんえきの玉がたくさんついていて、虫がかかると、体がくっついて動けなくなりなす。ねばりのないたて糸は、あみを支えるほね組みの役わりをしています。クモが自分のあみにひっかからないのは、このたて糸の上を歩いたり、体や足から油を出して、横糸がくっつかないようにしているからなのです。

